

「豊洲新市場予定地の土壌汚染対策工事に関する技術会議」の検討状況について

技術会議の設置

設置目的

「専門家会議」の報告を踏まえ、豊洲新市場予定地において行う土壌汚染対策工事の技術工法について、専門的見地から評価・検証を行う。

委員構成

座長：原島 文雄（東京電機大学 未来科学部 教授）
委員：学識経験者6名（環境、土木、情報処理、プロジェクトマネジメント）

新技術・新工法の公募

公募期間

民間企業等を対象に、平成20年8月18日から9月26日まで公募を実施した。

公募結果

・提案事業者数	
大手事業者	15
中小事業者	94
研究所・個人研究者等	11
計	120
・提案件数	
汚染土壌・汚染地下水対策	174件
液状化対策	25件
市場施設完成後の地下水管理システム	14件
上記対策を全て含む総合的な対策	8件
計	221件

検討状況

開催状況

第1回： 8月15日	第5回： 10月29日
第2回： 9月11日	第6回： 11月 5日
第3回： 10月 7日	第7回： 11月27日
第4回： 10月21日	

主な検討内容

- ・ 市場施設の耐震の考え方、汚染処理した土壌の処分方法など評価・検証を行うための視点を確認した。
- ・ 公募提案を委員の専門分野ごとに割り振り、各委員が提案内容を評価するとともに、優れた技術を推薦した。
- ・ 委員が推薦した技術をもとに、地下水の流出入を防ぐ遮水壁の設置から、汚染土壌の処理と地下水の浄化、液状化対策、市場施設完成後の地下水管理まで土壌汚染対策全体を網羅する案を複数策定し、その内容を精査している。
- ・ 今後、土壌汚染対策全体を網羅する案について、施工性、経済性、工期などを評価の基準として、技術・工法の選定を進めていく。